

イベントナビ

Event Navi

ROX KIDS
絵画・イラストコンクール
濱名さん ROX賞

浅草の「おみそか」と「お正月」をテーマに開催された「第14回ROX KIDS 絵画・イラストコンクール」の表彰式が23日、東京・台東区の浅草ROXで行われた。

浅草ROXの大谷卓男社長の発案で始まった同コンクールは今年で14回目を迎え、小学生以下を対象に今年57作品の応募があった。その中からROX賞に濱名美瑛さん(8歳)、「台東区長賞」に金幹人さん(10

歳)が選ばれ、そのほか「金賞」「銀賞」に各2人、佳作18人が選出された。
上位入賞者作品は浅草ROXの「年賀状」や年末年始ポスターとして採用された。「2016年の夜明け」と題し、夜明けの五重の塔をのびのびと描いた「ROX賞」を受賞した濱名さん。去年も応募した濱名さんは「去年も応募した濱名さんだったの、今年は一歩を」と喜んで、またコンクール発案者の大谷社長は「子供たちの描いた絵は何より宝物なので、これからも沢山の絵を描いてほしい」と挨拶で語った。



入賞した児童たちと浅草ROX・大谷社長(前列中央)

古橋郷平コンサート2016

音楽でよみがえるのがえる日記



2月15日東京、3月18日大阪で公演
日本を代表するテノール歌手、古橋郷平のコンサート「古橋郷平コンサート2016 音楽が繋ぐ未来へ」が2月15日に東京・紀尾井ホール、3月18日に大阪・リノ五輪金メダルリストでプロスケイターの荒川静香さん、大阪公演ではシンクロナイサーの立花美哉さんがスペシャル・ゲストとして登場。それぞれ古橋の歌声とともに、音楽との関わり、そしてメダルへの軌跡を語る。

テノール歌手の古橋郷平【下】シンクロナイサー世界選手権デュエットで日本人初の金メダルに輝いた立花美哉さん



東京公演に出演する荒川静香さん



シンクロナイサー4人の立花美哉さん大阪で登場

賞も受賞した逸材だ。アスリートの魂に寄り添う今回のコンサートは、その人にとってどれ程の時を経ようとも色あせることなく、記憶の中にある大切な音楽と再び世界を舞台に活躍してきた、そして現在も活躍を続けるアスリートの魂に寄り添った音楽は、何だかんだで「フィギュア界から荒川静香さん、シンクロナイサーの立花美哉さん」を招き、音楽とともに2人の軌跡を深く掘り下げていく。荒川さんは2006年トリノ五輪のフリー演技曲で「プッチーニ作曲の歌劇トウランドット」のアリア「誰も寝てはならぬ」を使用。金メダルに輝いた美しい舞は日本中を魅了し、「イナバウアー」は同年の流行語大賞に選ばれたほど広く知られた。コンサートでは同曲を古橋が歌い、荒川さんにメダルの感動をよみがえらせてもらう。大阪公演で登場する立花さんは96年アトランタ、00年シドニー、04年アテネと3大会連続の五輪出場を果たし、銀メダル4個銅メダル1個を獲得。また01年世界選手権では武田美保さんと組んだデュエットで日本人史上初の金メダルに輝いた。水中での想像を超える激しい運動によって水上での華麗な演技が生まれるシンクロナイサー・スイミングは、音楽と一体となって魅せる「スポーツ・イタリア」を歌曲とともに立花さんに当時を振り返ってもらう。チケットは東京公演が一般7000円、学生3000円、大阪公演が一般6000円、学生2000円。いずれも未就学児は入場不可。問い合わせは03・6427・6688、コンコルディアまで。

「ロイヤル」の自信作を召し上げろ! 贅沢なガトーショコラ
「Rola Sweets factory」のプレミアム版。ロイヤルが力加の産地やチョコレートの製法、原料ブランドに至るまで勉強し、フランス産のチョコレートを50種類以上のガトーショコラを試作し、幾度となく試行錯誤と試食を重ね商品が完成した。ロイヤルは「おいしいチョコをたっぷり使って、ぜひいたくガトーショコラをつくってみたい。こだわりの自信作を召し上げろ!」と得意満面。販売サイトはwww.rolasweetsfactory.jp



本條秀太郎端唄 今月31日開催!!
報知端唄(はうた)鑑賞会に出演している本條流家元・本條秀太郎 写真が、本條秀太郎の会「端唄」を1月31日(日)に東京・紀尾井ホールで開催する。端唄は、「江戸端唄」とも言われ、江戸人の粋と洒落

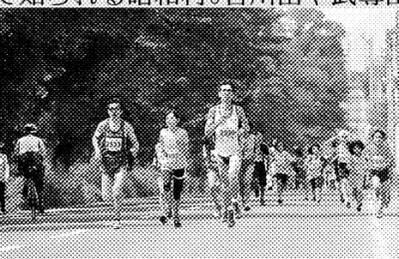


昭和三村河岸段丘ハーフマラソン5・29号砲 参加者募集中!
畑の中のコースを疾走する「第2回 やさい王国昭和三村河岸段丘(かんだんきゅう)ハーフマラソン」が、5月29日に群馬・昭和三村総合運動公園で開催される。高原野菜やこんにゃくの産地として知られる昭和三村。谷川岳や武尊山

ボウリング新春初夢 プロアマミックスタブルス 桑藤富田ペアV
ボウリングの新春初夢プロアマミックスタブルス1ナメント(報知新聞社など後援)が1月23・24日の2日間、東京・青海の東京レジャーランドボウルで開催された。

この中から生まれた流行歌。庶民の生活に深く根ざし、武士から町人まで、幅広く江戸人にもてはやされ、身近で洗練された室内音楽。当日は本條の三味線や唄声を端唄ではおなじみの楽曲「角力甚句(すもうじんく)」「綱は上意」などで楽しむ。

【日時】1月31日(日) 午後2時開演(開演は30分前)。
【場所】紀尾井ホール(東京都千代田区紀尾井町6番5号) 03・52764500
【入場料】4500円(全席自由) ※チケット完売。



大会は村民が中心となり多くのボランティアスタッフによって運営され、地域の団体による太鼓演奏や、地域の応援、沿道からの声援など、人のあたたかさを感じることが出来る。また、会場では昭和三村特産の野菜や果物のふるまいブースが設けられ、自然あふれる味も楽しめる。問い合わせは実行委員会事務局 0278・24・5111

51チーム302人が参加。応援も含めヒートアップするなか、桑藤美樹プロ||写真前列左端||と富田明さん||同2人目||のペアが優勝、スポーツ報知杯を手にした。協賛のアサヒビール(株)、(株)アークインタル(株)、(株)アークインタル(株)、(株)アークインタル(株)が協力した(株)南国酒家から副賞が手渡された。また、会場で集められたチャリティー16万円が(公財)報知社会福祉事業団に寄付された。